診療科・対象疾患	外科・胃癌
プロトコール名	XP＋HER初回(D1)21d
1コース日数	21日
催吐リスク分類	高度

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21							
トラスツズマブ注 初回	8mg/kg	●																											
シスプラチン注	80mg/㎡	●																											
カペシタビン錠	C法（下記参照）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														

治療スケジュール

処方

デカドロン錠(4)　2錠　1日2回　朝昼（day2、3、4、必要時day5）
（必要時）オランザピン錠（2.5）　2錠　1日1回　夕（day1、2、3、4）

※ トラスツズマブ注は投与予定日より1週間以上後に投与する際は改めて初回投与量で行う
※ トラスツズマブ注の溶解液量は60mgが3.0mL、150mgが7.2mL

カペシタビン投与量	下記投与量を1日2回　朝・夕食後			
体表面積	1.36㎡未満	1.36㎡以上1.66㎡未満	1.66㎡以上1.96㎡未満	1.96㎡以上
1回投与量	1200mg	1500mg	1800mg	2100mg

※ カペシタビンは治療当日夕より開始し、15日目朝まで内服

Day1

生食 100mL（ルート確保用）
→ ソルデム3A　500mL
→ 2時間 → ソルデム3A　500mL
→ 2時間 → パロノセトロン点滴 0.75mg / デキサート注 9.9mg / アロカリス点滴静注 235mg
→ 30分 → 生食 50mL
→ 15分 →

生食 250mL / トラスツズマブ注 8mg/kg
→ 90分※ → 生食 300mL / シスプラチン注 80mg/㎡
→ 2時間 → 20%ﾏﾝﾆｯﾄｰﾙ注 300mL
→ 90分 → ソルデム3A　500mL
→ 2時間 → ソルデム3A　500mL
→ 2時間 → 終了

※2回目以降、30分に変更可能

福岡大学筑紫病院